



経済体験学習「スチューデント・シティ」(5年生)

2月12日(木)、5年生が平にある「スチューデント・シティ」(いわき市体験型経済教育施設)に行き、中央台南小学校の5年生と共に体験学習を行ってきました。5年生を対象に行うこの体験学習(総合的な学習の時間)で、子どもたちは、「ものやサービスを提供する側(生産・販売者)」と「受ける側(消費者)」の役割を同時に体験し、『社会は、仕事などを通じて相互に支え合うことで成り立っている(共存社会)』ことなどを学びました。

【 学習の内容 】

◎学校での「事前学習」では

「仕事をする意味」や「仕事選びと会社の仕組み」「価格やコスト、利益の関係」「ビジネスプランづくり」などを学習する。

◎「スチューデント・シティ」では

社内会議、仕事、ショッピング、全体ミーティングなどの活動を行い、積極的に発言・行動することや意思決定の重要性、社会はさまざまな仕事などを通してつながっていること(共存社会)、コミュニケーション(あいさつ・言葉づかい)の大切さなどを体験的に学ぶ。

◎学校での「事後学習」では

スチューデント・シティで感じたことやわかったことをまとめ、将来の自分はどうかあるべきかなどについて考える。



スチューデント・シティでは、どの子も「大人」として活動します。初めは緊張と戸惑いが感じられましたが、実践と反省(会議)を重ねるうちに、相手に進んで働きかけ、工夫改善を加えながら積極的な姿に変わっていきました。後半では、子どもたち自身が、活気ある「スチューデント・シティ(自分たちの街)」をつくり上げました。一人一人が責任と自信と支え合いを深めた素晴らしい活動でした。

ボランティアスタッフとしてご協力いただいた保護者の皆様にも感謝を申し上げます。